

わが学び舎 松高小



八代市立松高小学校
学校だより
NO. 2
令和4年5月13日
文責 校長 入佐正夫



新型コロナウイルス感染防止の徹底に努めましょう

保護者の皆様もご承知のとおり、日本国中で新型コロナウイルス感染拡大が収束する様子が見えません。この松高小でも4月以降、学級閉鎖が相次いでおります。5月の始めには、クラスターも発生しましたが、すべての人が感染防止に向け努力をしているわけですから悪くありません。むしろ、今まで以上に感染防止に向けての対策を各家庭で行い、学校で行い、しっかり防止対策を継続しているわけですから、今後も学校では、これまでどおりに「手洗い、マスク着用、アルコール消毒、換気、3密を防ぐ、黙食」の基本対策の徹底を行ってまいります。特に、これから教室内でエアコンを使用する季節がやってきます。エアコン使用時の換気をしっかり行うなど感染防止の徹底を行います。みんなで、気を緩めることなく感染防止に努めましょう。

松高小がめざす子どもの姿へ・・・家庭との連携協力が何より重要です

4月の始業式で校長の私から、4つのことを話しました。そして、話を聴くだけではなく、「行動に移して欲しい」と伝えました。以下は、その抜粋です。1つめは、「いつでも どこでも だれにでも 笑顔で明るい元気なあいさつをしましょう」です。毎日の生活を送る上で一番大切なコミュニケーションがあいさつです。家族や地域の方に自分から進んであいさつをしましょう。2つめは、「当たり前のことを当たり前にしなさい」です。「学校生活のきまりを守る、交通ルールを守る、生活マナーを大切に守る、時間を守る、ろうかを走らない、自分がされていやなことを人にしない」です。これができたら、安心安全な学校生活を送ることができます。3つめは、「自分のめあてをもって、自分をのばす」です。1年後に、「ここが成長できました」と言えるようになって欲しいと話しました。4つめは、「毎日の授業を大切にしたい」です。それは将来、社会人として自立して行くためには、小学校時代に身に付ける必要のある勉強があることからしているのです。と以上、4つの話をしました。行動に移すことができているでしょうか。この4つのは、今の松高小の子どもたちに必要な力だと感じています。これからも、継続して伝えていきます。そして、自分をのばし、当たり前のことが当たり前でできる子どもを育てていきたいと思っております。そのためには、家庭との連携・協力が何よりも必要です。家庭でも、これら4つのが少しずつでもできるようにお話いただき、できている姿・頑張っている姿が見えたらほめてください。自分のことは自分でできる松高っ子、どうすることが当たり前のことなのか考え行動できる松高っ子を学校、家庭、地域で育てていきましょう。



子どもたちの学校生活の様子から・・・あいさつの現状と授業の様子

あいさつ：毎朝、学校近くの三叉路交差点に立ち、交通指導・あいさつ指導を行っています。4月よりも5月と少しずつ、気持ちのよいあいさつができる子どもが増えてきました。中には、ずいぶん離れている場所から「校長先生、おはようございます！」とあいさつをしてくれる子どもたちもいます。また、校内でも自分から進んであいさつをする子どもたちも少しずつ増えています。なんとも嬉しいことです。しかしながら、こちらから先にあいさつしてもあいさつをしない子どもたちもいます。これから、いつでもどこでもだれにでも気持ちのよいあいさつができる「松高っ子」を育て応援していきたいと思っております。

授業の様子：4月は家庭訪問や身体測定や各種検査など授業以外の行事が多く、ようやく5月の連休も終わり、通常の授業体制になりました。どの学年、学級もまずは、落ち着いた授業姿勢の確立をめざし、学習に向かう姿勢の基盤である「正しいいすの座り方」の定着に向けて指導を行っています。授業の様子を見ていると、足の裏が床面についていなかったりしている様子が見られ、これから定着に向けて頑張っていく必要があります。しかし、毎日、正しい姿勢で授業を受けている子どもたちも1年生から6年生、どの学級にも確実に増えてきており、今後も子どもたちの落ち着いた授業態度の向上に力を入れていきます。



5月の授業参観・学級懇談を中止しました

5月13日（金）に予定していました授業参観、学級懇談を今回、中止することにしました。保護者の皆様もご承知のとおり、現在の新型コロナウイルス感染拡大状況から、一時的な時間帯であっても多人数が集まることでリスクが高くなります。1学期が始まり、1ヶ月あまり経った子どもたちの授業を受けている姿をご覧いただきたかったのですが、残念です。現在の状況をご理解いただきますようお願いいたします。今は、「安全」を優先させていただきたいと思っております。